

会報

No. 67

平成17(2005)年8月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
 京都府立図書館内
 TEL (075) 762-4655

京都市図書館は情報の拠点をめざします

京都市中央図書館長 中嶋 晴彦



この間、一貫して、市民の方々が気軽に利用できる、市民に開かれた図書館であるべきとの方針の下、いち早く日祝日の開館や夜間開館を行うなど着実に歩んできました。現在、三中央館及び十五地域館及びこどもみらい館子育て図書館の十九館と移動図書館をコンピュータネットワークで結び、全館が一体となってサービスを展開しています。さらに、地域開放型学校図書館として、ボランティアに支えられて運営するコミュニティプラザ深草図書館があります。

京都市図書館は大変な荒波にもまれながらも、これを乗り切り、さらにはまた次の波に立ち向かうという状況でした。

すなわち、全十九館のオンライン化。全館で均質なサービスを提供

京都市図書館は昭和五十六年の設立以来ほぼ四半世紀を迎えようとしています。

この間、一貫して、市民の方々が気軽に利用できる、市民に開かれた図書館であるべきとの方針の下、いち早く日祝日の開館や夜間開館を行なうなど着実に歩んできました。

現在、三中央館及び十五地域館及

びこどもみらい館子育て図書館の十九館と移動図書館をコンピュータネットワークで結び、全館が一体となつてサービスを展開しています。さらに、地域開放型学校図書館として、ボランティアに支えられて運営するコミュニティプラザ深草図書館があ

ります。

そして、全市二十館で一体となつた京都市の図書館として統一性のある運営が求められる一方で、多様化する市民のニーズがあります。各館の地域性を踏まえた特色づくりも急務であります。京都市全体のあるべき蔵書構成を基本にしながら、それ

ぞの図書館の個性化を進めていきたいと考えております。

財政事情が極めて厳しい下ではありますかが、「右京中央図書館(仮称)」の十九年度開館に向けての大きなプロジェクトが進行中です。この図書館は、現在の右京図書館を移転拡充し、さらに新中央図書館基本構想にあるIT環境の整備や京都情報の発信機能も備えて、京都市として最大規模となります。

するとともに、互いの館が補完し合えることで、さらに質の高いサービスの実現を図りました。さらにはIT化の波がありました。社会の急激なイノベーションとともに図書館自身も変革を求められてきました。最近ではインターネット予約を求める声が高まりつつあり、対応を進める必要があります。

そして、全市二十館で一体となつた京都市の図書館として統一性のある運営が求められる一方で、多様化する市民のニーズがあります。各館の地域性を踏まえた特色づくりも急務であります。京都市全体のあるべき蔵書構成を基本にしながら、それ

ぞの図書館の個性化を進めていきたいと考えております。

また、京都市では平成十六年四月に「子ども読書活動推進計画」を策定しました。本好きな子どもを育むために、市民とのパートナーシップの下、社会全体で取り組まなければなりませんが、学校や地域と連携し、図書館が果たす役割は重大であります。

京都市中央図書館長を拝命して早や四ヶ月が過ぎました。図書館に対する市民の愛着や期待の大きさを日々強く実感するとともに、課題の重さ多様さに身の引き締まる思いです。この大切な時期に図書館で働くことを喜びに感じ、全職員一丸となつて市民とのパートナーシップの下、さらに充実させ、情報の拠点となる図書館を実現するよう邁進してまいります。

平成十七年度

京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

平成十七年度京図連協定期総会が、平成十七年四月二十一日（木）午後一時三十分から、府立図書館において開催されました。

まず、開会行事として、山本徳善

会長のあいさつ、西来路秀彦国立図書館事業部長、角南ちえみ京都府教育庁指導部社会教育課長

（代）からの来賓あいさつ、津守俊

西村千秋長岡市立図書館長を監事

一京都府立図書館長の歓迎あいさつ

がありました。

その後、平成十七年度の理事紹介

があり、議事に入りました。

総会の後には、図書館業務に永年勤続し、その功績を認められた十七名の方の表彰、並びに「公共図書館をめぐる様々な状況～図書館評価とサービス計画の実践～」をテーマに、浦安市立図書館資料第二係長の長田薰氏からご講演をいただきました。（詳細は、次ページ）

◇ 会務報告・決算報告

会務報告では、「子どもの読書活動推進計画」の策定、ブックスター

減少等の下で、府内の図書館の動向の取組、学校との連携、資料費のや相互協力の増加が報告されました。

次に、各専門委員会の活動として、

◇ 総会議事

総会は、奥西安己京田辺市立中央図書館長を選出し、加盟館六十一館中、出席二十九館・委任状三十一館・欠席一館により、総会が成

立していることを確認した後、議事が開始されました。

まず、事務局から、平成十六年度会務及び決算報告がされました。監

事の梅原武京都市南図書館長から監

査報告をいただき、会務報告・決算

報告ともに了承されました。

また、梅原武京都市南図書館長、

西村千秋長岡市立図書館長を監事

とするなど、中嶋晴彦京都市中央図

書館長、辻逸司府立総合資料館長、

津守俊一府立図書館長を顧問とする

ことが、それぞれ承認されました。

その後、平成十七年度事業計画

（案）及び予算（案）が提案され、そ

れぞれ承認されました。

最後に、協議と採決が行われ、全

議案の承認を確認し、総会が閉会し

◇ 表彰者一覧（敬称略）

中村茂登子（京都市中央図書館）

長谷川直美（京都市中央図書館）

脇智江子（京都市伏見中央図書館）

池野 幾代（京都市北図書館）

五十嵐幸夫（京都市岩倉図書館）

早野 潔（京都市南図書館）

上杉 美里（京都市南図書館）

研修研究委員会からは三回の実務研修会（子ども読書活動指導者研修会、北部会場を含む）、相互協力委員会からの拡大相互協力委員会の開催での府立図書館のシステム更新や雑誌等所蔵目録等の検討、実務担当者会での府内図書館の協議、さらに、広報委員会からは三回の会報発行がそれぞれ報告されました。

決算報告では、各専門委員会委員への旅費の支給等が報告されました。会報では、各専門委員会委員への旅費の支給等が報告されました。決算報告では、各専門委員会委員への旅費の支給等が報告されました。

◇ 事業計画・予算（案）

事業計画では、特に、府内三会場

で「子どもゆめ基金助成金」事業

（三ヵ年計画）を計画し、今年度は

相互協力委員会等におけるシステム

更新の検討等が提案されました。予

算では、京北町の京都市への編入に

伴う分担金の減少が提案されました。

受彰者の皆さま、おめでとうございました。



職員表彰の模様

大道 紀恵（京都市久世ふれあいセンター図書館）
京極真由美（京都市子育て支援総合

センター子どもみらい

館子育て図書館）

前川 宗範（京田辺市立中央図書館）
尾崎 瞳美（京田辺市立中央図書館）
石井 京子（京田辺市立中央図書館）
（北部部分室）

石川 祥子（京田辺市立中央図書館）
（中部部分室）

深山 智由（綾部市立図書館）
浜岡 輝行（京丹後市立あみの図書館）
垣野 篤子（府立総合資料館）

定期総会講演

「公共図書館をめぐる様々な状況」

（）図書館評価とサービス計画の実践（抜粋）

浦安市立中央図書館 資料第二係長 長田 薫氏

千葉県公共図書館協会の幹事を務めており、私たちの地域でも合併や業務委託等の話が聞こえています。

これまでのような右肩上がりの成長は、今後期待できません。またIT技術の進展で、情報リテラシーが一層重要になり、デジタルデバイドの問題も大きくなっています。

こういう社会変化に直面して、社会的資源の再配分という行政の仕事についても、今まで以上に合理性や公平性が求められています。財政問題の解決策として、地方分権や合併、地方自治法の改正、指定管理者制度立案しサービスの提供は別という考え方方も出てきました。自治体では自己点検・自己評価、説明責任、情報公開など納税者の理解を得ることが求められています。また、図書館では、資料の電子化による既存資料と電子出版物の複合的な提供、WEBによる蔵書検索が日常になり、ビジネス支援、行政情報サービス、医学情報、多文化サービス等が具体的な課題となっています。

図書館政策では、一九九六年の

「社会教育主事・学芸員及び司書の養成、研修等の改善方策について」（養成カリキュラムの現状に即した形での改善と現職司書のレベルアップを図るという内容）を出発点に、翌年から司書講習科目が改正（情報関連科目の増、図書館経営論）され、図書館司書専門講座の前段階として地区別研修が始まりました。「二〇〇五年の図書館像～地域電子図書館の実現に向けて」によるモデルの提示、図書館の設置及び運営上

の望ましい基準」の文部科学大臣告示、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の公布と続き、文部科学省の「これから図書館の在り方検討協力者会議」が二〇〇五年の次に事柄から、図書館像をつくるプロジェクトとして昨年設置されました。この一連のサービス計画の作成、計画的実施、点検評価という一連の活動が義務付けられたと考へるべきだと思います。

「公立図書館の任務と目標」（日図協、昨年春改定）でも、公立図書館の経営の基本として計画・評価が必要という新項目が加わりました。

またこれまでの司書資格より高度な上級司書資格を認定する制度の開始を、二〇〇六年度に目指すことが計画されています。

社会教育実践研究センターでの図書館司書専門講座に、「図書館サービス計画の企画立案の実際」という演習（レジュメ「図書館サービス計画作成の基本的理義」参照）があります。ここで要点は、図書館が目指す目的・目標を定め、個々の業務を体系化することと、自治体の基本計画等の中での図書館の位置づけ、自治体全体の課題や目標に対して図書館の役割を明らかにすることです。

図書館活動の評価には業務統計（貸出冊数、登録者数、蔵書冊数、日計、月計等）の他、アンケート調査、チェックリストによる蔵書評価、レファレンスの自己点検等が必要な場合もあります。また、県内等の図書館の中でどの程度のサービスレベルにあるかという量的評価、図書館利用の満足度、利用の定着率、資料の利用目的等の質的評価が重要な要素になってしまいます（「公立図書館の任務と目標」及びチェックリスト、大東文化大学の池内淳氏HPを参照）。

サービス計画を立てる場合には、まず地域や住民生活の分析を行います。また図書館サービスの現状、課題の整理のために、主要な統計数値は数

年間の推移を見ることが必要です。パソコンを活用し多様な資料を作り、分析をしなければなりません。利用の実態、統計、他の図書館や類似自治体との比較等、具体的な根拠を示していく必要があります。

計画の具体的な目標設定のために的な事例、研究動向や成果を知ることが必要です。また、自治体の行政計画の中での図書館の位置づけを明確にすること、具体的な数値目標を設定すること、計画実現時の効果と経費の関係を明らかにすることが必要な事例、研究動向や成果を知ることが重要です。最終的には利用者へのサービスが、どれだけ向上するかということが計画の判断基準になります。

図書館サービス計画の内容は、実現の可能性のある計画、計画的段階的に実施する計画とします。今日の社会状況の中では、省力化、合理化の余地も考えざるを得ません。計画がきちんと機能していくためには、しが重要だということをまとめの言葉にさせていただきます。

* スペースの関係で講演の後半（指定管理者制度部分概要）と講演資料は割愛していますので、必要な方は事務局まで請求してください。

LIBRARY NEWS

夜久野図書室がオープン！

夜久野図書室 櫻井真由美

本年度四月に夜久
野図書室が新しくオーバー
ブンしてから、はや
四ヶ月余りがたちま
しに。

「近くに図書室ができて、ほんまに嬉しい！」「この本、おもしろかつた！今度はこの作家の作品に挑戦しよう！」「静かでよい場所やねえ。椅子も座り心地いいし、ゆっくりできますね。」利用者の方の笑顔に励まされる毎日です。

夜久野図書室は、蔵書可能冊数が三万冊の小さな図書室です。その限られた中で、住民の暮らしに役立つ資料を揃え、暮らしに密着した親しみのある図書室にしていくこと。また、町の情報源として、「夜久野らしさ」が蔵書や展示物や館内の装飾の工夫に感じられる「ふるさとへの愛着を育む図書室」でありたいといふ願いをもとに作り上げてきました。

所で勉強に励む高校生。随分と「おなじみの顔」が増えた

幸い立地条件が良く、正面の見晴らしの良い大きな窓からは、山々の鮮やかな緑が目に飛び込んでできます。



ゆつくりと通過するのが見え、春は
桜の吹雪が舞い、今は青々としている
イチョウの葉も秋には黄金に色づ
きます。雪の多い夜久野の冬もこの
窓から見ると一層映えそうです。四
季折々が感じられる自然環境と木造
ならではの木の香り、人にやさしい
低い書架、さまざまな形や色のテー
ブルと椅子が演出する空間が、利用
者にとって「心地いい自分の居場所」
となっています。複合施設の中の図
書室であるため、リハビリに通うお

年寄りや、赤ちゃんの健診に来られたお母さんなどに利用していただいたり、保育園が隣接しているので、送迎の時間には、必ず寄ってください。方があつたり、いろいろな方が利用されます。

いましたが、図書室は一人一人の本棚であるとともに、みんなの本棚で密着し、住民の方々の生活の一部として存在してみたいと思います。皆さんの本棚を預かり、誰もが心地よく利用できるようお手伝いをさせていただいている私たち職員は、いつも笑顔を忘れずに、一人一人の顔を見て「来てくれてありがとう。」と、いう気持ちで挨拶することを心がけています。スタートしたばかりで、まだまだわからないことだらけですが、利用者と接する中でいろいろと勉強させていただくことが多くあり、図書室は、利用者に育てていただくものなんだ、共に成長していく関係なんだ、と感じる毎日です。

小さい町ほど、新鮮な情報、たくさん的情報が必要です。わが町も過疎化が進んでいますが、だからこそ図書室ができる本当に良かったと思っています。今後も自己を磨くことを怠らないこと、新しい情報を絶えず提供し続けること、一人一人の利用者のことをよく知ることを頭に置いて、来ていただいた方が何かを得て満足して帰つていただけるように、そして次も来ていただけるような魅力的で利用者の目線にたつた図書室をめざして、職員全員が力を合わせ頑張つていきたいと思います。

DVDの館外貸出しを開始

久御山町立図書館の取組

久御山町立図書館 吉本康夫

当館では、平成十一年新館開館以来DVDの館内視聴を行つていますが、今年五月より館内視聴に加え館外貸出も開始しました。

収集開始当初はそのほとんどが館内利用のみの著作権承認を受けたものでしたが、近年館外貸出の承認を受けたタイトルが増加し、その割合がビデオの館外貸出とほぼ同数となつたことから、今回利用枠を拡大したものです。

現在、DVDのタイトル数は約二三〇点、そのうち館外貸出承認済タイトルは約半数ですが、ビデオと比

して耐久性、配架スペースの点から有利であり、また価格帯がビデオと同等となつてきていることや普及率

の観点からも
今後積重不^可

拡充していき極的に予定です。

「簡単で早い『すぐれもの!』」
本の自動貸出機を設置

京都市醍醐中央図書館の取組

京都市伏見区の醍醐中央図書館では貸し出し窓口の混雑緩和などを目的として平成十七年四月に図書の自動貸出機を三台設置しました。

利用方法は非常に簡単。貸し出しに必要な図書館カードを所定の位置に置くと、機械がバーコードを自動的に読み取ります。あとは借りたい本のバーコードラベルを上に向け置くだけです。

子どもや高齢の方にも利用され、閉館前や土・日・祝の混雑時には、「簡単で早い」と好評です。

*京都市左京図書館でも四月から自動貸出機が設置されています。

図書館司書専門講座へ参加

京田辺市立中央図書館の取組

文部科学省と国立教育政策研究所が主催の平成十七年度の図書館司書専門講座が、六月十三日から二十四日までの十二日間、東京の上野で開催され、京田辺市から一名参加しました。全国から今回は六十六名の参加があり、経験年数が概ね七年以上で指導的立場にある者が対象となるため、研修内容の充実もさることな

がら、経験豊富な他府県の参加者との交流によって、多くのことを学ばせていただきました。

開館時間延長・体制強化

京丹後市立図書館の取組

平成十六年四月の合併に伴い、丹後・弥栄・大宮・久美浜の図書室とともに、開館時間を全ての施設で午後六時までとし、より便利な図書館を目指しています。

☆台風二十三号被災図書館から
御支援御協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

大江町立図書館

三月二十二日再開

新任図書館(施設)長紹介

京都市中央図書館 中嶋 晴彦

醍醐中央図書館 田中 孝二

下京図書館 柳川 正春

南図書館 梅原 武

吉祥院図書館 東條 朝一

西京図書館 長谷川 幸治

洛西図書館 山本 宗隆

向日市立図書館 山田 昌憲

平成十七年度研修計画

現在分かっている範囲の研修計画をお知らせします。

◎第九十一回全国図書館大会
期日 十月二十六日(水)～十月二十八日(金)

開催地 茨城県水戸市

テーマ 「常陸国(ひたちのくに)から図書館の未来を探る―読書の力、図書館の力が社会を変える―」

日時 平成十七年九月七日(水)十時二十分～十六時二十分
(受付十時)

会場 同志社大学今出川校舎明徳館
基調講演 十時三十分

◎全国公共図書館研究集会
*サービス部門
「レファレンスの極意」

期日 十月六日(木)～七日(金)
開催地 徳島県徳島市

*総合・経営部門
「シンポジウム 十二時四十分
同志社大学総合情報センター
井上 真琴 氏

期日 十一日(木)～十一日(金)
開催地 兵庫県神戸市

井手町図書館 加賀山 瞳
和束町体験交流センター図書室 渡辺千代美
笠置町中央公民館図書室 岩井 重彦
瑞穂町教育委員会 水嶋 正治
美山町立図書館 山内 宗
福知山市立図書館 井上 吉信
舞鶴市立西図書館 山本 明宣
夜久野図書室 和田 大顯
京丹後市立あみの図書館 中村 賢一
(敬称略)

◎図書館地区別研修近畿地区
期日 平成十八年二月七日(火)～十日(金)
開催地 和歌山県和歌山市
◎近畿公共図書館協議会研究集会
(兼児童奉仕部門)
期日 未定
開催地 京都府京都市

◎第十四回京都図書館大会

図書館アップデートPART II (レファレンスの極意)

今年度は、「レファレンスの極意」をテーマに、講演とシンポジウムで、レファレンスに練達した方の方法や極意を伺うとともに、館種毎のレファレンスの在り方にについて考え、どのように工夫し技量を高め、連携していくかを探ります。

ぜひ、ふるってご参加ください。

ゼビ、ふるつてご参加ください。
会を変える―」
◎全国公共図書館研究集会
*サービス部門
「レファレンスの極意」
同志社大学総合情報センター
井上 真琴 氏
シノポジウム 十二時四十分
（十六時二十分）

「レファレンスの技量のアップに向けて」
アドバイザー兼パネリスト

井上 真琴 氏

パネリスト

京都府立桂高等学校 学校図書館

司書 藤谷 千尋 氏

京都市立川岡小学校 司書教諭

中西 照美 氏

京都市中央図書館 図書課担当係長

田中せつ子 氏

京都市国際交流会館 図書・資料室

溝口 智子 氏

申込み 平成十七年九月三日(土)

までに、電話・FAX・郵送で

お申し込みください。

〒606-18343

京都市左京区岡崎成勝寺町9

京都府立図書館内

京都府立図書館実行委員会宛

電話 075(762)4653

FAX 075(762)4653

資料費 五〇〇円(当日徴収)

注意事項 駐車場はありません。市

バス烏丸今出川若しくは地下鉄
烏丸線今出川駅(3番出口)で

降りてください。

懇親会 十七時三十分)

於 ルビノ京都堀川

(参加費 三千円)

平成十七年度 京団連協役員・委員変更一覧

(太字が昨年度からの変更部分)
理事

長谷川幸治(京都市西京図書館)

山田 昌憲(向日市立図書館)

井上 吉信(福知山市立図書館)

梅原 武(京都市南図書館)

中嶋 晴彦(京都市中央図書館)

田中 元美(京都府立図書館)

小倉 和美(宇治市中央図書館)

鈴木 研也(宇治田原町立図書館)

田中 紀子(京都府立総合資料館)

山中真理子(城陽市立図書館)

川上 元(京都府立図書館)

芝 智恵子(京都府立総合資料館)

棚橋 透(京都府立図書館)

◎広報委員会
坂本 紀子(京都府立総合資料館)

北部ブロック
「災害への対応について学ぶ」
「来館者への応対について(危機
管理の側面から)」のうち、どちら
かに絞り込む。時期は未定。

中部ブロック

(仮)「視覚障害者サービスにおける
資料の多様化と高齢者等対象者拡
大についての問題と課題について」

十二月か一月に開催。

南部ブロック

「子どもゆめ基金助成研修会」を
十一月に開催。

◎相互協力委員会

「子どもゆめ基金助成研修会」を
二月二十四日(木)に府立図書館にお
いて開催され、相互協力の実務につ
いての概要説明、平成十七年度連絡
協力車の運行について説明があった。

主な内容は、京丹後市誕生に伴つ
て実施されていた暫定運行の終了と
搬送先が峰山図書館一館になること、
また瑞穂・和知両町がEコースに編
入されること等であった。

その後質疑応答、交流協議がなさ
れ、交流協議では相互貸借専用袋に
ついての質問や要望があつた。

京都府立図書館において開催され、本年
度の活動計画について協議された。
結果は次のとおり。

次にK-LIBNETの更新に関
して、書誌同定、横断検索の併用導
入、そしてリクエストの新設等につ
いて説明がなされた。また、新たに
導入を計画しているインターネット
構築についての説明と現状報告がさ
れ、実施に向けて今後も協議を重ね
ていくことで了承を得た。

◎広報委員会

平成十七年度第一回広報委員会を
五月二十六日(木)に府立図書館で

開催し、今年度の発行計画と会報六
十七号の編集方針等を協議しました。

今年度の発行は年三回とし、

・第六十七号 八月十五日

・第六十八号 十一月十五日(予定)

・第六十九号 三月十五日(予定)

と決定しました。

編集子

広報委員会二年目を迎え、交代となつ
た(二名)新メンバーで会報のさらなる
充実を目指して頑張るつもりです。

ところで、学校の夏休みが始まつてい
ますが、各館とも忙しい毎日が続いてい
ると思います。しかし、普段とは違い、
静かな中にも多くの子どもたちの来館で
活気が感じられる図書館ですが、利用者
へのレファレンスや資料提供等職員の腕
の見せどころではないでしょうか。健康
にはくれぐれも気をつけて、より充実し
たサービスの提供ができたらと思います。